

「欲しいものがわからない・・・イライラする」

「こんな私で、大丈夫なんだろうか・・・？」

## 抜け出したい あなたへの 手紙

---

「未来をデザインし、手に入れる技術」

- B E workshop -

自分の神話を創造する

3月5日（土），6日（日）の2日間

2009年以来の、再開催決定。

---

過去と未来を 自分の配下におきましょう。

あなたは、ただ現実に流される小舟ではありません。

自らの意思で、  
海原を自由に航海できることを 知ってください。



「BE」 workshopは、  
私が、現在の「軸」を得た「考え方」や「技術」をお伝えしているものです。

今回は、大変にご好評いただきましたworkshopの再開催です。  
今年、東京で1月9日に行ったものとは、  
全く違うアプローチと視点をあなたにもたらしめます。  
もちろん、  
今回、初参加の方でも、  
1月9日に参加された方でも同じように自分の未来をデザインしていただきます。

今回のワークショップでも、自分を掘り下げていきます。

自分の人生を自分で満足するためには～  
答えは、外にありません。

どれだけ、  
たくさんの成功法則や  
ビジネス指南書を読んでも  
あらゆるセミナーに行っても

そこにあなたの欲しいものはないと私は考えています。  
ヒントは、あるかもしれませんがね・・・。

それらは～あなたが持つ「自分らしく成功したい！」という渇きを  
一時的にいやす効果があるかもしれません。

そもそも、世に出ている「豊かになる方法」とか「成功する方法」なんて～  
結果論でしかありません。

誰かがうまくやったことが嘘もホントも盛り込んで流通していることがほとんどです。

世間や時代や、ある人が見せるキラキラした「あんな姿」や「こんな姿」を  
カタログを開くように探し回り  
かっこ良さそうな、  
自分にできそうな、  
自分にも買えそうな、  
友達からは、おしゃれに見えるものなどの・・・  
ただ、マスコミなどが見せる「成功者の流行カタログ」から  
選んでは、そこに向かってがんばってきたのではないのでしょうか？

しかし、  
そうした努力は 結局続かなかったのではありませんか？

そして・・・また～  
今の自分は、自分じゃない・・・もっと！もっと！輝いている自分を・・・  
と、  
まるで、ありもしない幻影を追い駆けまわすように 求めてしまう。

自分は、  
もっと！キラキラした人生を、  
もっと！大きなステージで送れるはずなんじゃないか・・・？という  
可能性にすがって、  
今日も、本を開き、セミナーへ申し込む・・・そんな、繰り返しになって  
はいませんか？  
本棚には同じような本ばかりが並んでいたりしませんか？

あなたは、自分という人間をろくに考えもせず、  
知ることもしない、見つめることもせずに、情報を追いかけてまわしてませんか？

私はそうでした。  
全部、私自身が経験したことです。

**答えは、外にはありません。**

自分自身の 内側にしか あなたが満足を感じる人生やビジネスの答えはありません。

私が、このような workshop を続けているのは、

私自身が、  
今～述べてきたような外に答えを求める経験を自分自身で体験し、  
転げまわって 悔し泣きをし、  
答えを求めて、お金をいっぱい！使ったあげく  
ようよう 気がついたことを  
体験型ワークショップとして、お伝えすることで

こうやって～「縁」があった  
あなたが、  
人生の時間において、大きな回り道をすることなく、  
貴重なお金を無駄に失うことなく、  
御自分の家庭や ビジネスについての  
「軸=欲しいもの」に 気がつくための お手伝いできること・・・それが願  
いだからです。

ですので、  
ワークショップでは～  
必ず、これまで生きてきた あなた自身の経験や 感情と向き合うことになり  
ます。

注) : ととてもつらいことが、脳裏をよぎる方もいらっしゃる・・・恐れがある方は、  
自分のタイミングが来るときまで 無理されないようにお願いします。

そして、

人生を考えるときは 現在を起点として 過去と未来に分けることができます  
よね。

現在を知り、  
過去を知ると、  
未来は、連続していることがわかります。

そうすると、

あなたは、ストーリーテラーとして 自分の人生を俯瞰し、デザインすることができます。

あなたが、  
あなたという 「神話」 の創り手であり、主人公であり、語り部  
なんです。

あなたの可能性を この時空に問う 生き方をしましょう。

自分の生きる時間は、自分でどのように使うか？を 主体的に選択しまし  
よう。

誰かの人生の脇役ではなく、  
世間の事情に流されるのではなく、  
自分の生きる物語が、どのような物語であるのか？は、  
自分で決めるべきものだと 考えます。

自分は、これから～大丈夫なんだろうか・・・？  
毎日、無駄な時間や お金を使っているばかりで 情けなくな  
る・・・。

もし？こんな気持ちになってしまうとしたら～  
ただ、海に浮かぶ小舟のように 波の来るままに流されているだけだから不安  
なんです。

どこに向かっているのかを知り、  
自分という船を知り、  
今、どこにいるかを知れば？  
毎日、やるべきことに迷いはありません。  
あなたは、あなたという船の艦長として 日々、やるべきことをやることにな  
るでしょう。  
行動し続けていると「不安」ではなく、「スリル」と「興奮」を得られるので  
す。

「立志越山」 して行きましょう。

志を感じ、人生を俯瞰する・・・

そんな 2日間は、

NLPの  
タイムライン、  
リフレーミング、  
アンカリング、  
ビジュアルスイッシュ などの 多彩な ワーク。  
そして、  
カラー（色）の力を 意図的につかうこと。  
もちろん、マインドマップ。  
ジーニアスコード。  
全脳思考に、  
春夏秋冬理論。

を 使った 座学ではない 2日間のほとんどが体験と実習のworkになります。

**使命とは、字の如く 使う命 と 書くままの意味だと考えています。**

使命は、よく ミッションと言われますが・・・

あなたのミッションは？なんて聞かれても、なかなかわかるもんじゃありません。

私自身、

これには 相当苦しめられました。

あなたのミッションは？

あなたのビジネスのミッションは何ですか？

口当たりのいい 爽やかなキャッチフレーズなら 掃いて捨てるほど出てきます。

が、

私の胸は震えませんでしたし、熱くもなりません。

それは、他人の言葉だからです。借り物の言葉だからです。

ありきたりの何でもない言葉でも

自分の使命を 自分の言葉として理解したときに  
人生の出来事がつながりました。

そんな体験を 目指した ワークショップ です。

お金儲けとか 集客の話、成功スキルについての お話ではありません。  
スキルは、魔法のような効果をもたらします。

が、例えば～

大工さんが、  
自分の住む家を どんな家に住みたいのかも？ わからずに  
当世、流行りのスキルを集めて、集めて 磨いて、磨いて、建てたとしても？  
自分にとっての いい家は建ちません。

まず、自分はどんな家で暮らしたいのか？を感じてから  
その家を建てるのに必要な材料と 材料を組み上げるスキルが輝くのです。

だから、  
家を建てるためのスキルを集め 磨く前に、  
あなたは、  
自分が住みたい ワクワクする家を・・・

流行の家でもなく、  
芸能人の家をまねしたものでもない、  
「この家で、なくてはならないっ！」という・・・

**あなたが、本当に！欲しい家を**  
**つまり、「人生を描くこと」から始める 必要があるのではないのでしょうか？**

魔法は結果であり、プロセスに宿るものであり、  
インスタントに買えるものではありません。

濃密ですが、 厳しいものではありません。  
楽しい 2日間です。  
NLPから 全脳思考まで、使えるものは全て使ってきた結果の中から

今回は、

「未来をデザインし、手に入れること」を可能にしたアプローチを  
workshop にしてお届けいたします。

## 私自身、大好きなワークショップです。

参加費は、55000円です。

場所は、「新御茶ノ水 6-L会議室(1/9と同じ会場です)」

[http://www.len.co.jp/conference/c\\_shinotyanomizu.html](http://www.len.co.jp/conference/c_shinotyanomizu.html)

お問い合わせ、

お申込は [master@omoto-atsuhiro.com](mailto:master@omoto-atsuhiro.com) に お願いします。

あなたにとって、私との出会いが あなたの物語の一部＝「ピース」であるよ  
うに、

私にとっても、あなたとの出会いが 私の物語の大切な大切な「ピース」で  
す。

出会いによって、

「未来へのピース」が、創造されて、  
お互いの生きる時間にある「未来」のデザインを担います。

そうやって、

私の世界は、回天して来ました。

そして、今。

**私は、あなたを 待ってます。**

では、会場で お会いできる日を楽しみにしています。  
ありがとうございます。

大本昌弘